

(2022)

人生の恩師茂木誠先生、茂木先生を知ることのできた幸運な受験生たちへ

東京大学文科三類に合格しました、○○○○です。僕は高校3年間は理系として過ごし、浪人で文転しました。東京大学文科一類を第一志望としていましたが、不合格となり、慶應義塾大学法学部政治学科に進学しました。しかし、さまざまな想いがこみ上げ、夏に再受験を決意し、慶應に在籍したまま東京大学を受験し合格した次第です。

僕は、中学時代は地元で勉学において敵なしでした。しかし、高校で進学校に入ってから最初のテストでビリになって以来、勉学へのやる気を完全に無くし、3年間遊び呆け、下から10番以内で卒業しました。元々は医学部に行きたいと思っていた自分でしたが、高校に入ってから多方面で活躍するOBと関わらせてもらう中で起業家になりたいと思うようになり、現役時のセンター試験の足切りを機に文転しました。

先生の授業はかなり情報量が多く、私立向きと思われがちですが僕は全く違うと思います。東大をはじめ、国公立大学の特徴は科目数が多いことで有名です。そして、世界史にハマる受験生は東大に合格しにくいです。東大に合格するには英数でどれだけ得点できるかが勝負です。中高一貫校で高2時点で英数がかなり仕上がった人なら世界史に力を入れてもいいかもしれません。しかし、東大受験生でさえ、多くの人は主要科目の未完成にも頭を抱えながら受験生時代を過ごすのです。その時、世界史にどれだけ時間を割かずに済むか、という視点が大切です。

先生の音声授業は受験生に時間を割かずに世界史を合格点に引き上げる最強ツールだと思います。僕は世界史をほとんど「勉強」しませんでした。これはサボっていた自慢ではありません。する余裕がなかったのです。自分は高校でビリに近い成績かつ文転というハンデを抱えていました。具体的には、数学が絶望的で世界史をやる時間がなかったのです。

しかし、センター試験では60点だった僕は4月から受験勉強を始め、夏の駿台東大実戦模試では全国60位台になりました。共通テストは当然満点。これもほとんど勉強していません。ひとえに茂木先生のおかげです。実際、ひとえというのも、文転者なのに予備校の世界史の講義は切っていました。具体的に僕は何をやったかという、全ての隙間時間を先生の音声を聴くことに費やしたのです。数えていませんが、60周ほど結局しました。上京一人暮らし浪人生だったので、お風呂に入る時も洗濯をする時もご飯を食べる時も歩く時もずっと聴きました。そうすれば、受験直前に先生の穴埋めノートを埋めて整理し、山川教科書を一周（結局読み終わらなかった）程度の机に座る勉強をしなくても東大に合格できたのです。

茂木先生の音声との出会いは文転の際、寮の隣室の先輩と寮の同じ階の後輩に勧められたことです。両者とも現役で東大文一に合格しました。二人が勧めてくれた主な理由は面白いことよりもコスパ良く短時間で世界史を仕上げられるからです。

先生の授業はとにかく情報量が多いです。一聞、雑談の中には受験には無駄なことに思えることもあるかもしれませんが、しかし、授業の雑談までしっかり聴く方が記憶の定着が良いことは科学的に実証済みと知っていたので気を抜かず聴きました。実際、先生の雑談のおかげ

で重要事項が想起されたり、繋がったりします。先生がどこまで計算されているかわかりませんが、雑談もすべてつなぎとして洗練されているということを受験生の方には知っておいてほしいです。

先生の授業をとにかく聴きまくった世界線を教えましょう。選択式問題の正誤文を読むと、単語から先生の話が頭を流れます。そして、誤文の違和感に気づきます。慶應法学部の細かい年代整序問題が出ます。該当文を読むと先生の話が頭を流れます。ストーリーが浮かびます。すると、「aが起こった後の流れでbが起きたのだからa→bしかありえないな」「cのころdの地域ではまだ一つ前の王朝の王がcの王と戦ったから、c→d」だなど浮かぶのです。しかも瞬時です。一般に苦痛とされる人物の暗記も、ごっちゃになるわけがないのです。なぜなら先生の世界史は色があり、人物にはキャラクターがあるのです。生き生きとした無数の先人と共にあなたの世界史学習は進むことでしょう。

僕は難関とされる慶應法学部の世界史の過去問を一切見ずに受けて、8割を取れました。東大受験生が通史をさらうために音声を聴いていたら気づいたら、負担とされる私大世界史でもトップクラスの点を取れるのです。そもそも、先生の授業は私大、東大とかいう形式上の問題の次元を超えています。historyとはstoryであるという本質に強く根ざす授業で身につけた力は論述式であろうと、客観式であろうと対応するのです。

先生のおかげで東大に合格することができました。本当にありがとうございました。僕が合格したことで僕も周囲の人も幸せになれましたし、ゆくゆくは東大も日本も世界も喜びます。本当にありがとうございました。

これからの受験生のみなさん、特に東大を目指すみなさん、茂木先生の授業はとても面白いですが、世界史ばかりやってはいけません。英数をやってください！安心してください、英数やらなきゃと思っていたら先生の授業が面白いが故に世界史好きになっているあなたは無意識に適度に世界史をやっています。そして、最後まで諦めないで！！

(2021)

私は2014～2015年度の二年間、第一志望の慶應義塾大学に行きたくて浪人していました。

高校の時は政治経済を選択していたのですが、慶應義塾大学は政経では受験ができないと知り、浪人してから世界史の勉強をはじめました。しかし浪人の授業というのは一年間で仕上げなければならないためなのか、授業がポイントごとの解説であったり、単語の暗記に終始していてなかなか世界史ができるようになりませんでした。

そんな中で2014年の冬に差し掛かりそうな頃、茂木先生の授業音声に出会いました。先生の授業は歴史の流れがとても細かく解説されていて、授業を聞いているだけなのに物語を聞いている気分させられました。先生の授業音声に出会った瞬間から私にとって世界史は勉強するものではなく楽しむものになったのです。それ以来、英語や古典の勉強の息抜き、寝る前の暇つぶしに先生の授業を聞きました。（そのような位置づけにしないとずっと世界史の勉強をしてしまうためです）

一浪目は早慶どころかMARCHも全落ちしてしまいましたが、得点開示してみると受験した大学は全て世界史だけは平均点を超えていました。この時、「私は成績を伸ばす努力を出来る人なのだから、もう一年浪人したら必ず早慶に受かるに違いない」と確信いたしました。案の定二浪目は苦手な英語に注力することができ慶應義塾大学に合格することができました。いまだに慶應文学部入試本番の世界史の時に、のちに難問奇問と呼ばれるであろう2、3問を残してパーフェクト回答をした時のことは忘れません。

私は本当に先生の授業音声に出会ってなかったらどこの大学にも落ちていたとひしひしと感じております。慶應に入って楽しい事であったり勉強であったり多くの経験をしてきましたが、この全てが先生の世界史に支えられているという事を時々思い出しては感謝をしています。長くなりましたが、本当にありがとうございました。

(2019)

現在高校三年生の〇〇××と申します。先日無事第1志望校の慶應義塾大学商学部合格することが出来ました。茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました。

僕は元々理系で9月に急遽文転をして慶應商学部は英語社会数学だったので0から世界史を始めました。そこでまずセンターレベルの知識をつけようと思い、茂木先生の「センター世界史の点数が面白いほど取れる本」を購入しました。その本の裏表紙に先生の紹介があり音声を無料で公開していることを知りました。なんて寛大な方なんだと思い、すぐにダウンロードさせて頂きました。その音声を通学時、寝る前など至る所で聞いて、本を読み、その内容を思い出すという作業を1.2ヶ月繰り返しました。そこで11月の模試では8割程度の点数を取ることが出来てそこからは弱点補強に徹しました。

結果的には茂木先生のセンター本と音声、薄い穴埋め形式の問題集を繰り返すことで、センター試験では94点、慶應商では7割強(自己採点)の点数をとることが出来ました。これはひとえに茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました。

本当に茂木先生には感謝してもきれません。ネットや本という形ですが茂木先生にお会い出来て良かったです。受講を決めたらまたお世話になります。これからも頑張ってください。

茂木先生のおかげで苦手だった世界史を克服し、青山学院大学の経営学部合格することが出来ました！

初めてお会いした時は高校三年生の時の駿台直前講習でした。あの時の授業はマイクを回して答えて、とても緊張しました。自分の行きたい大学には合格することができず、東洋大学で仮面浪人をすることになりました。アルバイトもする必要があったので、勉強をする時間があまりありませんでした。

そこで、茂木先生のサイトにたどり着き、世界史を極めました。

結果、青山学院の世界史で90%以上解けて、慶應義塾大学の商学部の世界史も8割以上の正答率で終わることができました。慶應義塾には落ちてしまいましたが、入試厳格化の中で青山学院に受かることができたのは自分の成功体験だと思います。これも全て茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました!!

何度か質問させていただきました∞という者です。私は茂木先生の通期受講はしていませんでしたが、今年一年間で最も影響が大きかったと思いますので、ご報告させていただきます。

一年間の浪人を経て慶應義塾大学の経済学部に進学することとなりました。A方式なので世界史は使っていませんが、小論文で米国史への知識を披露して来ました(笑)

3月10日に第一志望であった東京大学の発表があり、去年に引き続き散ってしまいました。去年の私は精神的に幼く、怒りが収まらずに社会に不満たらたりましたが、今年は素直に受け入れる事が出来ました。それは今年一年、茂木先生の講習と音声、プリントを使い、暗かった自分の世界が開かれ、自分の学習そのものに満足できたからだと確信しております。直前講習で第一問を的中して頂いたため、これでダメなら自分の実力不足と認める他ありません。

確かに私の受験期間は外から見れば「失敗」なのかも知れません。しかし、私は先生の授業から様々な物に興味を持ち始め、読んだことのない新聞を読み始め、経済学を専攻したいと思うようになりました。去年、偶々東大に合格していたら、それは不幸な事だったと思います。それほど、充実した学習が出来ました。

長くなり、申し訳ありません。社会に出ても、茂木先生の講演を聞きに行きたいと思う次第です(YouTube登録者数1万人おめでとうございます)。一年間、ありがとうございました。

お礼の言葉を書かせてください。先日、国立の発表があり、一橋大学に合格しました。茂木先生のお陰で合格したと言っても過言ではないです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

僕は茂木先生の授業をお金を払い受けたわけでもないし、会ったこともないですが、宅浪をする中で世界史の勉強方法に困り、調べてこのサイトに行き着きました。無料で音声と解説、穴埋めプリントまで公開していて、罪悪感を感じながらも全て活用させていただきました。何度も解説と音声を聞きながら穴埋めプリントにひたすら書き込んで自分用の解説プリントとノートを作り、それを何度も自分で暗唱できるようにしました。

僕はもともと世界史が大の苦手で、大嫌いでしたが、世界史の口マン、物語、背景などを語りながらの臨場感あふれる茂木先生の講義はとても質の高いものであり、センター世界史は満点を取れ、国立二次試験対策においても大いに役立ちました。本番は3問全て自信のある解答を書けたと思いますし、特に今年の3問目の中国共産党と国民党の勢力争いの変遷を述

べるものでは、直前に茂木先生の中国史近代と現代の穴埋めプリントを見ていたので完璧に書けました。

支離滅裂な長文になってしまいすみません。この1年間本当にお世話になりました。先生の本、買います。

現在高校三年生の〇〇××と申します。先日無事第1志望校の慶應義塾大学商学部合格することが出来ました。茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました。

僕は元々理系で9月に急遽文転をして慶應商学部は英語社会数学だったので0から世界史を始めました。そこでまずセンターレベルの知識をつけようと思い茂木先生の「センター世界史の点数が面白いほど取れる本」を購入しました。その本の裏表紙に先生の紹介があり音声を無料で公開していることを知りました。なんて寛大な方なんだと思い、すぐにダウンロードさせて頂きました。その音声を通学時、寝る前など至る所で聞いて、本を読み、その内容を思い出すという作業を1、2ヶ月繰り返しました。そこで11月の模試では8割程度の点数を取ることが出来てそこからは弱点補強に徹しました。

結果的には茂木先生のセンター本と音声、薄い穴埋め形式の問題集を繰り返すことで、センター試験では94点、慶應商では7割強（自己採点）の点数をとることができました。これはひとえに茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました。

本当に茂木先生には感謝してもしきれません。ネットや本という形ですが茂木先生にお会い出来て良かったです。受講を決めたらまたお世話になります。これからも頑張ってください。

茂木先生のおかげで苦手だった世界史を克服し、青山学院大学の経営学部合格することができました！

初めてお会いした時は高校三年生の時の駿台直前講習でした。あの時の授業はマイクを回して答えて、とても緊張しました。自分の行きたい大学には合格することができず、東洋大学で仮面浪人をする事になりました。アルバイトもする必要があったので、勉強をする時間があまりありませんでした。そこで、茂木先生のサイトにたどり着き、世界史を極めました。

結果、青山学院の世界史で90%以上解けて、慶應義塾大学の商学部の世界史も8割以上の正答率で終えることができました。慶應義塾には落ちてしまいましたが、入試厳格化の中で青山学院に受かることができたのは自分の成功体験だと思います。これも全て茂木先生のおかげです。本当にありがとうございました！！

(2018)

こんにちは、〇〇予備校生の〇〇と申します。...先日関西学院大学に合格しました。茂木先生の授業のおかげです。

というのも私の高校は世界史のペースが遅く、センター直前に全範囲が終了するようなカリキュラムでした。なので独学の必要性に迫られていた私は足掻いて足掻いて、やっと出会えたのがもぎせかでした。

世界史というのは専ら暗記ものだという先入観が強くあり、苦行と捉えていた私は、地理的要因から国の制度や軍事などを解説する授業に心を奪われました。そして学校の先生が教えてくれなかった因果を紐解き各国の利害を読む茂木先生の華麗な語り口のお陰で、現代に通ずる国際情勢を理解することが出来ました。

またもぎせか資料館に上げられている「音声ファイル」もフルに活用しました。ランニングをしながら、お風呂に入りながら、電車に乗りながら、布団に入りながら、様々な場面で茂木先生の授業を聴いていました。

楽しくなってくると、それに伴って点数も上がってくるもの。2年生の頃に受けたセンター同日試験では34点という有様でしたが、当日はなんと8割を越えました。結果センター利用で産近甲龍に合格、そして関西学院大学の商学部にも合格しました！ 本当にもぎせかと出会えて良かったです。これからの更なるご活躍、期待しております。

(2017)

私は△△県に住む高校三年生の〇〇〇〇と申します。...

私は、高校二年生まで全く勉強をしてきませんでした。なんとなく、志もないままわけのわからない大学についてそのまま、大人になって妥協、妥協の人生を歩んでいくんだろうなと思っていました。

そのせいで、模試での成績は目も当てられないようなひどいものでした。

そのままじゃダメだと決心し、高校三年生から勉強し始めましたが 失われた二年の勉強する期間は大きくなかなか結果が出ずに、自分の無力さを思い知りました。

親には金銭的にできるだけ迷惑はかけたくないだから、浪人は絶対にダメだ。でも、このままでは浪人することになる。

そんな時に会ったのが茂木誠先生です。

ここで、一つ謝らなければならないことがあります。私は先生の書籍を一度も買ったことはありませんし、先生の授業も受けたこともありません。先生の預金口座の口座額の数字を何一つ上げていないのです。

先ほど、先生の授業を受けたことがないと言いましたが正確には違い 先生の声はずっと聴き続けました。

先生が運営されているサイトの「もぎせか録音ファイル」を全てダウンロードして通学中に同じ講義を何度も何度も何度も聴き続け、寝る前にもタイマー設定にして聴き、倍速にしてお風呂場でも聴き、ある程度印象的な所は先生の口調を真似て繰り返せるくらいまで繰り返し聴き続けました。

すると、夏休みを終え志望校の過去問をやり始めると何度も何度も「あ、これもぎせかで聴いた！」という問題が出ました。世界史と音声ファイルはとても相性がよく参考書だけを使う受験生が陥りがちな誤った音で用語を覚えてしまい、筆記を誤ってしまうようなも防ぐことができました。

迎えた本番、先生のおかげで合格最低点の40点以上高い点数で同志社神学部合格することができました。

私は仏教徒なのですが、先生の講義を聴くうちに神学部や、キリスト教、仏教、イスラーム教、世界の神話に興味が出たことが神学部に進学を決めた理由です。

私は一度も先生に会ったことはありませんが、先生のことを恩師と思っていますし、将来は先生のような宗教や世界史の先生になりたいと思っています。

また、お会いする機会ができれば改めて感謝できたらなと思っています。

本当に茂木誠先生ありがとうございます。